

阪神・淡路大震災 兵庫県神戸市 鷹取東第一地区震災復興土地区画整理事業

二段階方式の都市計画による住民主体のまちづくりの実現

地域名	兵庫県神戸市	「より良い復興」を実現するための重要な観点	住民合意形成プロセス
取組みの概要	● 鷹取東第一地区は、神戸市の中心市街地である三宮から西へ約7kmに位置し、JR鷹取駅の南東に広がる区域で、震災前は、鷹取商店街を中心とした商店と戦前長屋等からなる、いわゆる「下町」のまちなみを形成している一方、狭小住宅の集積、住宅の老朽化、道路・公園等の公共施設の不足などの課題を抱えていた。 ● 震災では、ほぼ全ての建物が焼失するという大きな被害を受けたため、早期の復興と住民意向を踏まえたまちづくりの両面の実現、及び次なる震災に向けて安全・安心で快適な市街地整備を、震災復興土地区画整理事業により実現した。		
取組みのポイント	① 二段階方式の都市計画 ・“計画的な早期復興”と“住民主体のまちづくり”の両面を達成するため、“二段階方式の都市計画”を実施した。 ・“第一段階の都市計画”により、道路等の主要な骨格を定め、“第二段階の都市計画”により、住民の意向を反映した具体的な整備計画を定めた。	第一段階の都市計画 ↓ 第二段階の都市計画 ・ 区域の決定 ・ 建築制限 ・ 道路等の骨格 ・ 住民意向の反映 ・ まちづくり方針決定	《主な経緯》 ・ 1995年 2月 1日 建築基準法84条 建築制限区域告示（3月16日まで該当区域の建築制限） ・ 1995年 3月17日 第一段階の都市計画決定 ・ 1995年 7月 2日 「鷹取東復興まちづくり協議会」設立 ・ 1995年11月30日 事業計画決定 ・ 1996年11月 5日 地区計画決定 ・ 2001年 2月21日 換地処分・土地区画整理事業完成
	② “協働と参画による復興まちづくり”の実践 ・ 住民意向をまちづくりに反映させるため、“まちづくり協議会の組織化”、“まちづくり専門家の派遣”、“現地相談所”の設置を三本柱とする協働と参画のまちづくりを推進した。 ・ 特に、まちづくり協議会は、まちづくり専門家のサポートを受けながら勉強会を積み重ね、創り上げたまちの将来像を“まちづくり提案”として、市長に提出するしくみとして有効に機能した。	神戸市 現地相談所 まちづくりに関する相談 まちづくり協議会 まちづくり専門家の派遣 まちづくりセンター	
	③ “減災まちづくり”への工夫 ・ 震災で地区の大半が焼失したこと、災害時の助け合いの重要性が再確認されたことなどから、“コミュニティ道路”や“ポケットパーク（小規模公園）”の整備が進められた。 ・ 若松鷹取公園は、道路を挟む2つの公園を一体的に利用できるように工夫され、100トンの耐震性防火水槽と防災資材倉庫が設置されている。	ポケットパークの整備例  鷹取東第一地区 大橋10丁目	若松鷹取公園の外観  （出所）「協働と参画のまちづくり」パンフレット（神戸市）

阪神・淡路大震災 兵庫県神戸市 鷹取東第一地区震災復興土地区画整理事業

早期の復興及び安全・安心で快適な市街地整備の実現

震災前後の状況

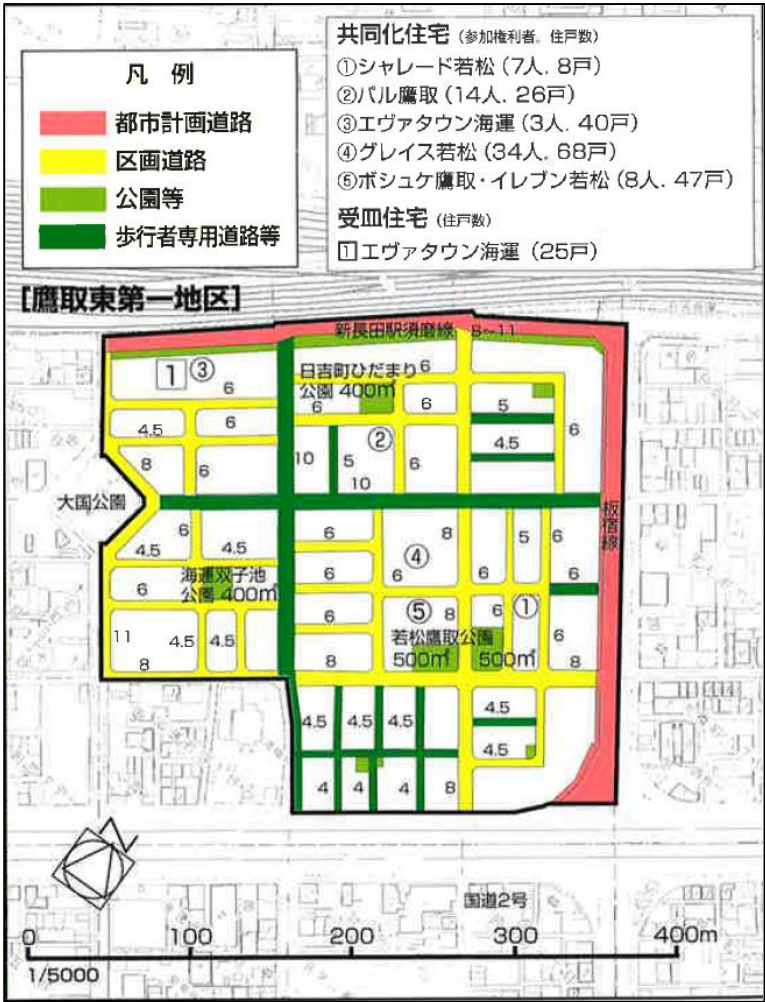
震災前(1994年5月)



震災後(1995年5月)



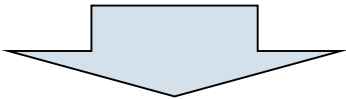
事業計画図



(出所)「協働と参画のまちづくり」パンフレット(神戸市)

震災直後からのまちなみの変化

震災直後の鷹取商店街(1995年)



施行後のまちなみ(2001年)

